



大衡村の元気な原木しいたけ生産者！

【林業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1



ヤマト運輸株式会社との連携による果樹ロゴマーク入りご当地のぼり旗贈呈式を開催しました

【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

大衡村の元気な原木しいたけ生産者！

▶林業振興部



大衡村に住む文屋裕男さんは原木しいたけ生産を始めて約45年になります。原発事故により約65,000本のしいたけホダ木（※1）が全て使えなくなるといった事態に見舞われました。その後、県林業普及員等とともに、被災を乗り越える活動が続け、私達の食卓に美味しい木の恵みを届けられるようになりました。

令和4年3月、子どもたちに原木しいたけ栽培に触れてもらおうと、大衡村立大衡小学校の児童を対象に植菌（※2）体験会を開催しました。今回植菌した原木からしいたけが収穫できるまでの2年間、児童と一緒にしいたけ栽培（ホダ木の管理）を行うことで、しいたけができるまでの一連の流れを体験してもらい、地元産品への理解を深めてもらう予定です。

文屋さんは「しいたけ栽培が続けられるうちは、小学校での植菌体験等を通して、地元への恩返しと原木しいたけの普及に取り組みたい」と語り、今後も活動が続けていく予定です。

※1…原木（丸太）にしいたけの菌を植えた後のもの

※2…原木に菌を植えること



▲ 原木に植菌する文屋裕男さん



▲ 大衡小学校での植菌体験会の様子

亶理農業改良普及センターでは、亶理町、山元町や生産者等と共に、両町の特産品である「りんご」と「ぶどう『シャインマスカット』」を活用した地域振興のプロジェクトを進めてきました。

その取組の中で、亶理町と山元町共通の果物 2 種類のロゴマークの作成趣旨に御賛同いただいたヤマト運輸に、このロゴマークを活用したのぼり旗（※）を特別に作成していただいたことから、令和 4 年 3 月 8 日にのぼり旗のお披露目及び贈呈式が亶理町役場で行われました。

今後、亶理町・山元町内のヤマト運輸取扱店等では、順次こののぼり旗に切り替えていく予定であり、両町を訪れる観光客等への産地 PR になることが期待されます。

普及センターでは、民間企業との連携による地域振興や県産食材 PR の推進に向けて、今後もこのような取組を支援していきます（ヤマト運輸は、宮城県、亶理町、山元町と包括連携協定を締結しています）。

※ヤマト運輸の宅配便取扱店等が店先や沿道に掲げるのぼり旗です。



▲ 贈呈式の様子